

かすがい

市議会だより

第1回市議会定例会

平成15年度予算

前年度比0.3%減で可決

市長の市政方針

主な内容

- 第1回定例会 2~3P
- 代表質問 4~5P
- 一般質問 6~7P
- 請願の審議結果など 8P



KASUGAI CITY COUNCIL

2003.5

第 23 号

市議会だよりは、環境保護のため再生紙を使用しています。

平成14年9月議会

平成15年度予算など45件を可決 人事案件5件に同意・了承

平成15年 第1回定例会

平成15年第1回定例会は、2月25日から3月17日まで21日間の会期で開催されました。

開会日の2月25日に平成15年度の市長の市政方針説明があり、2月27・28日の両日に5会派による代表質問が行われ、市長よりそれぞれ答弁がありました。

定例会には補正予算・当初予算・条例など51件が提出され、1件を除き原案どおり可決・同意・了承しました。

なお、一般質問は10名の議員が市政の課題について当局の考え方をいただきました。

補正予算

総額6億1222万5000円の補正予算を可決しました。

その内訳として、一般会計の補正額は、2億9116万2000円です。特別会計の補正額は、国民健康保険事業3008万8000円、介護保険事業9097万5000円、公共下水道事業2億円です。

一般会計補正予算の主な内容は、JR高蔵寺駅バリアフリー化施設整備補助、愛知環状鉄道活性化事業補助及び鉄道間乗継

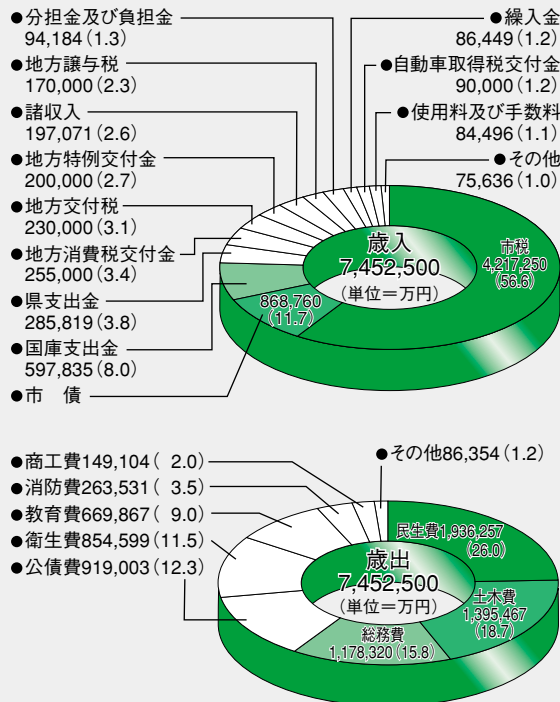
円滑化事業補助、ふれあいの家及び民間社会福祉施設の用地購入です。

当初予算

平成15年度当初予算を可決しました。一般会計は、745億2500万円で前年度比0.9%増、特別・企業の両会計を加えた総額は、1587億円で同0.3%減となりました。

歳入では、市税収入421億7250万1000円前年度比3.4%減、法人市民税同17%減、固定資産税同2.9%減、個人市民税同2%減となりました。歳出では、民生費193億625

平成15年度春日井市一般会計当初予算



※カッコ内の数字の単位は%

条例

地区画整理事業支援、産学連携支援事業、小中学校校舎等耐震診断調査などです。また市制60周年を記念して、市政60年の歩みパネル展、子ども議会などが行われます。

▽男女共同参画推進条例

個人の尊重と法の下の平等の理念に基づき、男女が平等で互いに自立した人間として尊重され、責任を分かち合い、安心と生きがいのある地域社会を目指すこととするもので、基本理念や市、市民、事業者の責務を定め、総合的かつ計画的に施策の推進を図り、男女共同参画社会を実現することを目的とするものです。

▽心身障害者扶助料支給条例の一部を改正する条例

扶助料の支給について、所得制限を設け、施設入所者には支給しないと定めるものです。

▽廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の一部を改正する条例

新たに一般廃棄物のうち、電気式温水タンクなどの廃棄物の処理手数料を定めるものです。市が収集運搬したもの

1個6000円以内

第1回定例会

◇上程議案と審議結果◇

◎補正予算……………5件

平成14年度一般会計補正予算……………	原案可決	(全会一致)
平成14年度国民健康保険事業特別会計補正予算……………	原案可決	(全会一致)
平成14年度介護保険事業特別会計補正予算……………	原案可決	(全会一致)
平成14年度勝川駅周辺総合整備事業特別会計補正予算……………	原案可決	(全会一致)
平成14年度公共下水道事業特別会計補正予算……………	原案可決	(全会一致)

◎当初予算……………14件

平成15年度一般会計予算……………	原案可決	(賛成多数)
平成15年度交通災害等共済事業特別会計予算……………	原案可決	(全会一致)
平成15年度公共用地先行取得事業特別会計予算……………	原案可決	(全会一致)
平成15年度国民健康保険事業特別会計予算……………	原案可決	(全会一致)
平成15年度老人保健医療事業特別会計予算……………	原案可決	(賛成多数)
平成15年度介護保険事業特別会計予算……………	原案可決	(賛成多数)
平成15年度介護サービス事業特別会計予算……………	原案可決	(全会一致)
平成15年度民家防音事業特別会計予算……………	原案可決	(全会一致)
平成15年度潮見坂平和公園事業特別会計予算……………	原案可決	(全会一致)
平成15年度春日井都市計画松戸土地区画整理事業特別会計予算……………	原案可決	(全会一致)
平成15年度勝川駅周辺総合整備事業特別会計予算……………	原案可決	(賛成多数)
平成15年度公共下水道事業特別会計予算……………	原案可決	(全会一致)
平成15年度春日井市民病院事業会計予算……………	原案可決	(全会一致)
平成15年度水道事業会計予算……………	原案可決	(全会一致)

◎条 例……………22件

市民メセナ基金条例について……………	原案可決	(全会一致)
特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に關する条例の一部を改正する条例について……………	原案可決	(全会一致)
手数料条例の一部を改正する条例について……………	原案可決	(賛成多数)
健康管理施設条例及び春日井市民球場条例の一部を改正する条例について……………	原案可決	(全会一致)
職員定数条例の一部を改正する条例について……………	原案可決	(賛成多数)
印鑑条例の一部を改正する条例について……………	原案可決	(全会一致)
男女共同参画推進条例について……………	原案可決	(全会一致)
社会福祉施設条例の一部を改正する条例について……………	原案可決	(全会一致)
介護サービスセンター条例の一部を改正する条例について……………	原案可決	(全会一致)
春日井勤労身体障害者教養文化体育施設条例の一部を改正する条例について……………	原案可決	(全会一致)
心身障害者扶助料支給条例の一部を改正する条例について……………	原案可決	(賛成多数)
医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例について……………	原案可決	(全会一致)
医療資金の貸付けに関する条例の一部を改正する条例について……………	原案可決	(全会一致)
災害見舞金等支給条例の一部を改正する条例について……………	原案可決	(全会一致)
介護保険条例の一部を改正する条例について……………	原案可決	(賛成多数)
廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の一部を改正する条例について……………	原案可決	(全会一致)
道路占用料条例の一部を改正する条例について……………	原案可決	(全会一致)
都市計画法に規定する市街化調整区域に係る開発行為の許可の基準に関する条例について……………	原案可決	(全会一致)
春日井都市計画事業勝川駅前土地区画整理事業施行条例の一部を改正する条例について……………	原案可決	(全会一致)
下水道条例の一部を改正する条例について……………	原案可決	(全会一致)
水洗便所改造資金貸付条例の一部を改正する条例について……………	原案可決	(全会一致)
水道事業給水条例の一部を改正する条例について……………	原案可決	(全会一致)

◎一般議案……………2件

市道路線の廃止について……………	原案可決	(全会一致)
市道路線の認定について……………	原案可決	(全会一致)

◎人事案件……………5件

助役の選任の同意について……………	同意	意見なし	(全会一致)
収入役の選任の同意について……………	同意	意見なし	(全会一致)
固定資産評価審査委員の選任の同意について……………	同意	意見なし	(全会一致)
人権擁護委員の推薦について……………	異議なし	意見なし	(全会一致)
人権擁護委員の推薦について……………	異議なし	意見なし	(全会一致)

◎議員提出議案……………3件

健保3割負担など医療費負担増の凍結・見直しを求め意見書……………	否	決	(賛成少数)
遺伝子組み換えイネの承認反対と遺伝子組み換え食品の表示義務化に関する意見書……………	原案可決		(全会一致)
平和貢献に関する意見書……………	原案可決		(全会一致)

指定場所に搬入したもの
1個50000円以内

▽水洗便所改造資金貸付条例の一部を改正する条例

貸付期間の延長制限を適用しない期間を3年間延長し、平成18年3月31日までとするものです。

▽その他18件の条例について規定を整備するものです。

一般議案

市道11路線の廃止と12路線の承認

道路法第10条の規定に基づき、篠原土地区画整理事業などの進捗に伴って付け替え、整理するため11路線を廃止し、同法第8条の規定に基づき、新設された12路線を認定しました。

議員提出議案

定例会最終日に議員提出議案3件を提出し、審議しました。

▽健保3割負担など医療費負担増の凍結・見直しを求める意見書

▽遺伝子組み換えイネの承認反対と遺伝子組み換え食品の表示義務化に関する意見書
▽平和貢献に関する意見書

人事案件

人事案件5件を同意・了承
任期満了に伴い、助役に宮地清恵氏、収入役に位田邦博氏、固定資産評価審査委員会委員に足立栄一氏の選任に同意しました。

また人権擁護委員に水野壽貴子氏、鈴木信子氏の推薦を了承しました。

代表質問

市政方針に対し見解を求める

各会派の代表者が2月27日、28日の両日にわたり、市長の市政方針に対し、代表して質問を行いました。

(各会派の質問と市長の答弁を、要旨で掲載しています。)

自民クラブ

質問者 柴山 継雄

名古屋空港の活用促進と地域振興策の具体化について

【質問】2005年3月の中部国際空港の開港を間近に控え、名古屋空港は愛知県の管理が明らかとなりました。

名古屋空港の小型機拠点空港化に向けた今後の動きは、どのような展開をするのか、お伺いします。また、それに伴い「基本構想」に示された地域振興策の具体化の状況について問う。

【答弁】名古屋空港問題は、この地域の将来に重大な影響を及ぼすものと認識し、全力で取り組んできました。

今後も小型機拠点空港化に向け、着陸帯用地や管制業務、地域振興策の具体化など、個別の課題に全力で取り組み、魅力ある名古屋空港の実現のため最善を尽くしてまいります。

土地区画整理事業にかかわる助成制度のあり方について

【質問】昨今の経済情勢の低迷により土地需要・土地価格の低下は著しいものがあり、それが

組合経営の悪化を招き、事業計画の遂行が困難になっている状況にあり憂慮されています。

そこで、市の組合に対する助成制度を見直し、支援を強化することとありますが、支援の内容についてお伺いします。

【答弁】組合事業に対する支援の強化を国等に要請するとともに、幹線道路の早期整備を図るための国庫補助金の確保に努めてきました。

今後も補助金の確保や助成制度の拡充を求めていくほか、市の補助金交付規則の見直しを行い、組合経営の健全化が図られるよう支援してまいります。

市民連合

質問者 前川 銃一

行財政改革の大胆で徹底した実施について

【質問】魅力あふれる施策の実施のためには、大胆で徹底した行財政改革の実践が不可欠です。改革には施策の経費、給与水準、職員体制などに目標を定め、経常経費の改善、単価契約制度、入札制度、土地活用ルールの見直し、人件費、諸手当などの改

革が必要です。市の考え方を問う。

【答弁】厳しい財政環境の中、的確な行政運営を行うため、外郭団体を含め市をあげて、行財政改革に積極的に取り組んでいくと同時に、第3次行政改革大綱の見直しに着手いたします。

また、財政の弾力性を堅持するため、行政改革の理念を尊重し、経常経費や各種制度の見直しを一層進め、経費の削減に努めてまいります。

市民病院における医療事故防止など信頼性の確保について

【質問】移転新築後4年を経過し、臨床研修指定病院の指定や病院機能評価の認定取得など、地域医療の重要な担い手として、医療水準の確保に努力されているが、医療事故防止に向けた院内の連携強化など、医療水準の向上と医療事故防止を含む信頼性の確保について問う。

【答弁】医療事故防止を最重要課題としてとらえ、安全対策の方針を決定する安全管理委員会を設置するとともに、組織の横断的な安全管理を行う医療安全管理室を設置します。また、医

師等を相談員とする医療相談窓口を設置し、医療事故防止の体制づくりを図り、信頼性の確保に努めてまいります。

公明党

質問者 蟹江 光正

使用済み天ぷら油の「3M」収集車への再利用について

【質問】従来、家庭や事業者の使用済天ぷら油は、新聞紙や固化剤で処理した上で燃やせるゴミとして排出、あるいは下水へ捨てられている。資源として循環活用意識の啓発となり、評価する。購入単価、この油の集め方、場所、精製所、給油所、試行的に使用してきた軽質軽油との比較について問う。

【答弁】植物性の天ぷら油を、6月から13か所の公共施設で毎水曜日に回収し、ごみ収集車の燃料として再利用します。精製は委託業者が行い、軽質軽油より1リットル当たり約34円安い値段で買い戻して使用します。ごみの減量効果に加え、環境面でも硫黄酸化物がほとんど含まれていないなど、クリーンな排ガスを実現できます。

雨水貯留タンク及び浸透施設助成の市内全域拡大について

【質問】雨水流出抑制対策の一助として、家庭内におけるこれらの施設整備助成について、昨年度はモデル地区を設定して試行した。東海豪雨水害を教訓とし、河川の堤防改修と平行し、一気に河川に流入する内水をなるべく貯留することが重要な対策だ。雨水の有効利用、対象施設、助成金額について問う。

【答弁】雨水流出抑制を図るため、平成14年度からモデル地区を設定し、家庭における雨水貯留タンクや浸透ますの設置に対する助成制度を創設しました。

この制度は、設置費の2分の1を補助するもので、平成15年度から、対象を市域全域に拡大し、雨水流出抑制と雨水の有効利用のより一層の推進に努めてまいります。

日本共産党春日井市議会議員団

質問者 宮地 隆

30人学級について

【質問】子供たちの教育環境を整えることについては異論がないと思うが、市は少人数学級と言わずに少人数指導という表現を使っている。学級と指導の議論があるが、一人の先生がみる生徒の数を少なくするという考えには違いがない。市内には30人以下の学級も多くあり、問題は人件費だけということか。

【答弁】少人数学級の実現には、教室の増設など学校の整備計画と合わせて相応な議論を尽くさなければなりません。このことについては、愛知県市長会においても研究部会を設け研究が進められており、本市においても研究に取り組んでまいりますが、当面は少人数指導を強化してまいります。

勝川駅周辺の再開発事業について

【質問】いま、土地区画整理事業で保留地が売れなくて困っている。一方で、駅前の再開発で高層住宅をつくるというのは、まちづくりの考えとして矛盾していると思う。ホテルのように、税金投入がどんどん広がっては、大変なことになる。再開発では、保留地を持つなど、継続して市が関与する計画があるのか。

【答弁】市街地再開発事業のなかで、市が関与することについては、道路の拡幅、緑地やペDESTリアンデッキ、歩道橋などの公共的な施設について、市の持分とすることを予定していますが、現在のところ、それ以外の床を持つことは考えていません。

平成クラブ

質問者 安藤 鉄爾

春日井市の河川排水対策と浸水防止について

【質問】春日井市の排水は地形からみて庄内川水系に依存し海に出している。市内河川の改修も重要であるが、基本的な従来からの姿が忘れられている。

市内各地で農地が宅地化され、保水能力が低下し、局地的集中豪雨により、毎年のように、各地で被害が出ているので、春日井市も対応する必要がある。

【答弁】春日井市の河川は、庄内川と新川水系に依存し、この流域において、計画的な都市基盤整備のもと、円滑な排水の確保に努めてきました。急速な市街地の進展と相まって、保水機

能対策がより重要となっており、今後とも流域市町や国・県との連携により浸水被害の未然防止に努めてまいります。

耐震診断について

【質問】東海地震説が出され、隣接市まで強化区域が指定される中で耐震診断実施とあるが、地域の中では色々な診断商法で一部市民が困っている現状です。白アリ・屋根瓦・天日タンク等の無料診断といって、家庭内に入って家族の人が困ったという話を耳にするので、市民が安心できるよう取り組んでほしい。

【答弁】平成14年度から木造住宅の耐震診断費用の助成を行っています。大規模地震に対する市民の関心が高まるなか、無料の耐震診断などの点検商法は、点検内容が素人には分かりづらく、また、強引な勧誘などのトラブルが見受けられますので、市広報誌等を通じて市民に注意を呼びかけてまいります。





市政全般にわたる問題について質問します

今回の定例会では、10名の議員が市の考え方や方針など、市政全般にわたり、20項目の一般質問を行いました。一般質問は、市当局に対し施策、事業などの現状や将来計画の考え方など、市民に密着した問題をたずねるために行うものです。各議員の質問と当局の答弁を、要旨で掲載しています。

(一般質問については、質問者から提出された原稿で掲載しています。)

医療水準の向上と信頼性の確保について

質問者 伊藤 隆司

【質問】MDCCTは①撮像スピードが速く、1日に多くの患者に対応できる②高い心拍数の方でも撮像ができる③X線被ばくの低減ができる④血管が狭窄し、造影剤の注入が制限された方でも検査ができる⑤画像も三次元立体化処理により、臨床的対応が飛躍的に向上するなど、より良い医療のため導入の考えは。

【答弁】市民病院にふさわしい機器の導入の是非については、絶えず新しい情報を収集し研究しています。提案がありましたMDCCTは、非常に効率的で精度の高い診断機器として承知していますが、この導入については、経営的な側面も含め、今後の研究課題とさせていただきます。

平成15年度市成人式について

質問者 田中 康則

【質問】私は成人式については4回目の質問です。当初は全国的に新成人による会場内外での乱行が続き、祝う側と祝われる側との心の通わない式なら取り

やめるとしたが、このごろでは若者たちの意見に迎合したかのような、無難に終わればとした何の感動もない、わずか15分で終了する成人式の見直しを問う。

【答弁】成人式の開催にあたり、新成人の意見を聞くため検討会を設けています。式典、セレモニーなどは、新成人の意見を多く取り入れた成果の現れとして、厳粛の中にも拍手が起こるなど、温かみのある成人式となりました。今後も新成人の意見を聞きながら、内容などの充実に努めてまいります。

小児救急医療支援事業について

質問者 石原 名子

【質問】急患の子どもに、いかに早く、適切な処置をしていくか、小児救急医療体制づくりが急務である。①本市としての24時間対応の救急医療体制の現状、また市民病院での24時間対応の救急医療体制の現状と課題について。②保護者に対する疾患知識の普及啓発について。③情報提供について問う。

【答弁】在宅緊急医や休日急病診療により救急対応を図るとともに、各種健診やパパママ教室などを通じて保護者への疾患知

識の啓発・指導に努めています。今後も、保健・医療情報の把握と速やかな提供に努めます。

市民病院の小児救急医療は、土曜日、祝日などは小児科医が担当し、その他の曜日には必要に応じて小児科医を呼び出す体制としています。

入札制度について

質問者 中藤 幸子

【質問】①予定価格と最低制限価格の事前公表によって、どれくらいの経費が節減されたか。

②より競争性を確保するため、公募型指名競争入札の導入や、一般競争入札の拡大を図るべきではないか。③ISOの認証を取得したり、男女共同参画に熱心に取り組む事業所を入札において、優遇すべきではないか。

【答弁】①事前公表は、入札手続の透明性を向上するため実施しましたが、結果的に約7千万円の経費節減が図られました。②昨年10月から制限付き一般競争入札の拡大などを実施しました。今後とも、入札制度の改善に努めてまいります。③ISO認証取得などを選定基準に含めることは、ご所見として承っております。

地域経済振興について

質問者 宮地 隆

【質問】地場産業や農業、日本の技術を支えてきた物づくり基盤を大事にし、国民の消費と結びつけていくことが地域活性化と景気回復の道です。経済の主役は中小企業です。中小企業基本法は、市が施策を策定し、実施する責務があると規定している。商工業振興より幅広い地域振興条例の策定について問う。

【答弁】財政破綻や行政サービスの低下などといった状態にならないように、産業振興を積極的に推進していくことが必要であると考えています。

平成15年度から商工業振興審議会において、中・長期的な視点での産業振興施策や地域の将来像について検討してまいります。

熊野・桜佐の水害対策について

質問者 伊藤 裕規

【質問】熊野・桜佐地域は、内津川と庄内川の逆流水と熊野・堀ノ内方面からの水で慢性的な水害を受けている。桜佐のポンプ場整備の見直しもたえず、内津川の整備・地蔵川放水路整備

が進められても、この水害の解決にはならない。東海豪雨後市長がいう暫定措置はどうなったか、水害対策について伺う。

【答弁】地蔵川放水路整備の一環として、内津川の改修が進められています。これに伴い、堀ノ内水路の吐口を整備し、堀ノ内方面からの雨水の一部を受け持つことで、熊野・桜佐地区への内水軽減に寄与できると考えます。今後とも、河川管理者である国・県との連携を図り、治水整備に取り組んでまいります。

教育問題について

質問者 大脇 清春

【質問】子どもの読書活動の推進に関する法律が、2001年12月公布された。第4条において地方公共団体の責務を定め、基本理念にのっとり、読書活動推進の施策を立て実践することを義務づけている。

本市の現在における対応はどのようになっているか。

【答弁】子どもの読書活動の推進に関する基本計画が策定されるなど、国を挙げて取り組む方針が示されました。平成15年度中に愛知県の基本計画が策定さ

れる予定ですので、本市としましては、その基本計画の内容が明らかになった時点で、計画の策定に取り組んでまいります。

教育行政について

質問者 内藤 富江

【質問】春日井小学校はこ数年児童数が増加し、今年度は児童数が千名を超える大規模な学校となる。特に今年度も1年生が5学級となり、低学年の学級の人数が非常に多い。このような状況で一人ひとりに行き届いた教育ができるか疑問に思う。大規模校を解消すべきと考えるが、今後の計画について問う。

【答弁】少子化が叫ばれるなか、本市では出生数が増えてきている状況にあります。特に区画整理事業が進む西部地区では、今後、人口増が見込まれますので、事業の進捗状況を把握するなかで、児童数の将来予測に対応してまいります。

平和行政について

質問者 内田 謙

【質問】イラクの大量破壊兵器廃棄の問題は、国連査察団が3

月7日に報告したように「ある程度の成果が出ている」。

査察の継続と強化で平和的な解決が可能であり、国際社会の圧倒的多数がこの道を進むべきだと考えている。この声をさらに大きくしていくために、ぜひ市長も声をあげてほしい。

【答弁】戦争のない平和な社会の構築は、私たち誰もが願っており、国、国際社会の動向を注意深く見守っていく必要があります。外交、防衛上の問題は、国会において検討されるべきと考えていますが、本議会においても関連した請願が審議されており、そうした結果を尊重したいと考えています。

エイズ教育について

質問者 後藤 正夫

【質問】エイズ感染最新報告書によると、新規感染者の4割が10代から20代の若者で新たな感染拡大の危険性を指摘している。新学習指導要領に、青少年の現代的課題が盛り込まれているエイズ教育の取り組みとエイズの位置づけを問う。

また、本市のエイズに対する予防・検診と啓発について問う。

【答弁】本市では、思春期教育研究委員会を設置しており、思春期教育の実践指導や性や健康に関するハンドブックの作成などを通して、エイズなど性感染症に関する正しい知識の普及に努めています。今後も県と連携を図り、採血検査や相談への周知啓発など、予防に関する情報を提供に努めてまいります。

また、本市は国からエイズ教育（性教育）推進地域に指定されており、児童・生徒の発育段階に応じたエイズ教育を行ってまいります。

掲載以外の質問項目

- 道路管理について
- レスパイトの考え方と助成について
- 市清掃事業について
- 春日井駅北口の交通安全について
- 地産・地消の拡大で農業活性化を
- 中小企業対策について
- 名古屋空港について
- 事務事業の改善について
- 防犯対策について
- 障害児保育の充実について

請願審議

第1回定例会に、3件の請願が提出され、委員会に付託し、継続審査となっている請願1件とあわせて審査しました。

その後、本会議で委員長の審査結果報告後、採決し、結果は次のとおりです。

▼産廃焼却施設建設に反対する請願書……………継続審査

▼「遺伝子組み換えイネ」を学校給食に使用しないこと並びに、その承認と表示に関して国へ意見書提出を求める請願書……………採択

▼政府に「平和の意見書」の提出を求める請願書……………採択

▼学童保育の充実を求める請願書……………不採択



意見書の提出

定例会最終日に3件の意見書を議員提出し、2件を可決した後、地方自治法第99条の規定により3月17日付で関係行政機関などへ提出しました。

その全文は次のとおりです。

○遺伝子組み換えイネの承認反対と遺伝子組み換え食品の表示義務化に関する意見書

遺伝子組み換え食品は、その表示義務の対象がごく一部に限られているため、消費者が十分に選択できない状況のまま流通しており、国内未承認ポテトのスナック菓子への混入事故等で、国民の不安は高まっている。

こうした中、国内では遺伝子組み換えイネの開発が進められており、その実験栽培も既に始まっている。もし、食品や飼料としてこれが承認され流通が開始されれば、国民の不安はさらに高まること懸念される。

よって、国におかれては、国民の主食であり、日本の農業のかなめとしてその環境と文化をはぐくんできた大切な作物であるイネを守るため、遺伝子組み換えイネを食品や飼料として承

認しないよう、並びに、基本的に全ての遺伝子組み換え食品について表示を義務化するよう強く要望する。

○平和貢献に関する意見書

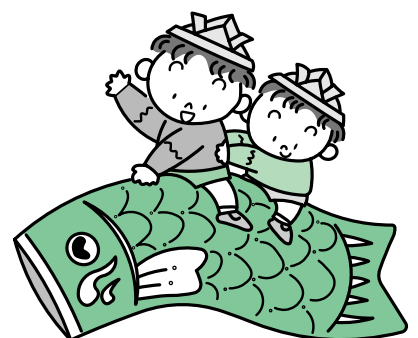
20世紀は、2つの世界大戦をはじめ、世界各地で戦争や紛争が続いた時代であった。武力での解決は、お互いに傷つき、憎しみを増幅させ、新たな争いを引き起こすだけでなく、いやしがたい心の傷を背負うことになり、根本的な解決とはならない。

また、環境は破壊され、豊かな大地も荒れ果てた不毛の地となり、元に戻るまでには長い年月がかかることになる。

現在、アフリカや中東など世界の各地で戦争や紛争が続いており、多くの人々が恐怖と飢餓にさらされている。

戦争のない平和な世界の実現は、人類共通の願いであり、中でも、戦争の悲惨さを身をもって体験している我が国には、21世紀を「世界平和の時代」として、リードすることが求められている。

よって、国におかれては、戦争や紛争の平和的な解決に貢献されるよう強く要望する。



編集後記

経済社会情勢が厳しさを増す中で平成15年度予算編成でしたが、議会で審議、可決されました。

春日井市議会の改選を控え今期の最終となる議会活動をそれぞれの思い入れとともに紙面に編集しました。

皆さまのお手元に第23号が届くころには、第16期の新しい議員が誕生し、新風を議会に送り込んでくれることでしょう。

市議会だよりも号を重ね少しずつ改善されてきましたがさらに市民の皆さまに親しまれるよう、バトンタッチしていきたいと思えます。

編集委員一同